

KORG minilogue Sound Librarian

取扱説明書

J 3

目次

はじめに	2
minilogue Sound Librarian とは?.....	2
使用上のご注意.....	2
動作環境.....	2
インストール	3
Mac へのインストール.....	3
Windows へのインストール.....	3
クイック・スタート	4
minilogue Sound Librarian を起動する	4
minilogue Sound Librarian の画面と操作方法	5
minilogue Sound Librarian メイン画面	5
プログラム・リスト.....	6
フェイバリットの編集.....	7
マイクロチューニングの編集	8
プリセット・データ.....	9
環境設定	10
MIDI ポート	10
その他.....	10
ファイルの種類	11
メニュー	12
ファイル	12
編集.....	12
minilogue	14
設定	15
トラブル・シューティング	16
起動できない.....	16
転送に失敗する	16

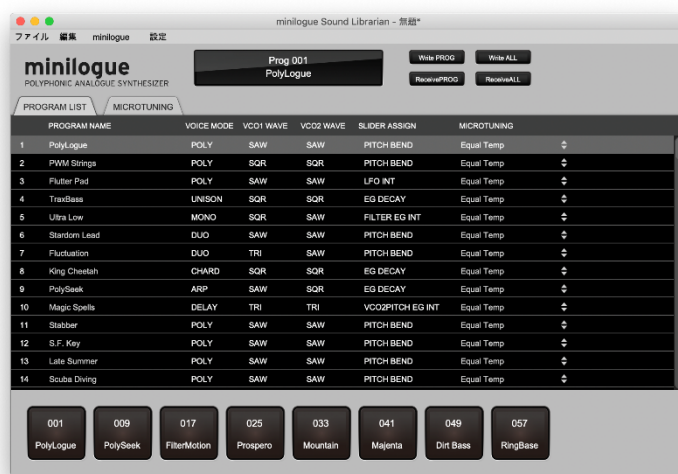
- Apple および Mac は Apple Inc.の登録商標です。
- Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10 は Microsoft Corporation の登録商標です。
- すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
- 製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

はじめに

このたびは、コルグ・ポリフォニック・アナログ・シンセサイザー minilogue をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって、正しい方法でご使用ください。

minilogue Sound Librarian とは？

minilogue Sound Librarian は、minilogue のプログラムの並び替えやマイクロチューニングの編集をしたり、コンピューター にデータを保存したりすることができます。



使用上のご注意

- ⚠ minilogue Sound Librarian の起動中は、minilogue の接続を解除したり、電源をオフにしたりしないでください。
- ⚠ minilogue Sound Librarian の起動中は、minilogue Sound Librarian の画面を、リサイズしたり移動したりしないでください。
- ⚠ データの転送中は、minilogue および minilogue Sound Librarian を操作しないでください。
- ⚠ minilogue Sound Librarian 使用中は、minilogue のグローバル・パラメーターを変更しないでください。
- ⚠ マイクロチューニングの機能は minilogue のシステムバージョンが 2.0 以上で使用できます。

動作環境

minilogue Sound Librarian を使用するには、動作環境を満たすコンピューターと USB ケーブルが必要になります。

Mac

対応 OS: OS X 10.11 以降

Windows

対応 OS: Windows 7 SP1 (32bit, 64bit) 以降

- ⚠ Windows 8.1/10 で、タッチパネルを使用した操作には対応していません。
- ⚠ **コンピューターに KORG BLE-MIDI Driver がインストールされている場合、起動に時間がかかることがあります。**

- ⚠ この動作環境を満たすすべてのコンピューターでの動作を保証するものではありません。

インストール

minilogue Sound Librarian を使用するときは、コルグ・ウェブサイトより KORG USB-MIDI Driver をダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。(<http://www.korg.com/>)

Mac へのインストール

Mac へのインストールは、以下の手順で行います。

1. 「minilogue Sound Librarian」フォルダーを「アプリケーション」フォルダーにコピーします。

Windows へのインストール

Windows へのインストールは、以下の手順で行います。

1. 「minilogue Sound Librarian Installer****.exe」(**** はバージョン番号)をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
2. 画面の指示にしたがってインストールします。

クイック・スタート

minilogue Sound Librarianを起動する

minilogue Sound Librarian を使用するときには、コルグ・ウェブサイトより KORG USB-MIDI Driver をダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。(<http://www.korg.com/>)

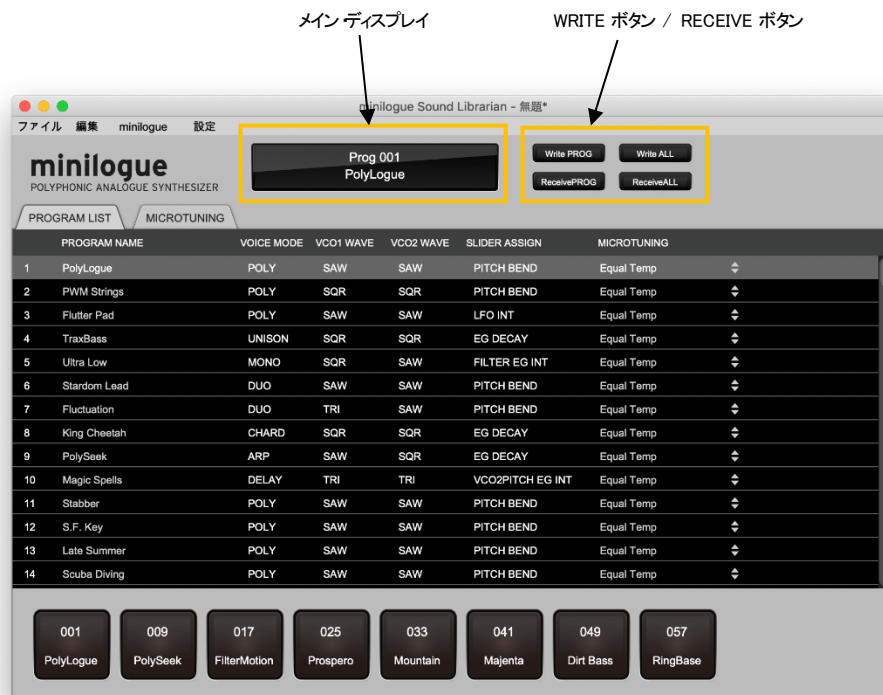
1. USB ケーブルでコンピューターと minilogue を接続します。
2. minilogue Sound Librarian を起動します。
Mac: 「アプリケーション」→「minilogue」→「minilogue Sound Librarian」
Windows 7: タスクバーのスタート・ボタン →「すべてのプログラム」→「KORG」→「minilogue Sound Librarian」
Windows 8.1: ホーム画面 -「minilogue Sound Librarian」
Windows 10: スタート・メニュー →「すべてのプログラム」→「KORG」→「minilogue」→「minilogue Sound Librarian」
3. minilogue Sound Librarian の画面が表示され、自動的に minilogue からプログラム・データ、ユーザースケール・データが読み込まれます。

minilogue Sound Librarian の画面と操作方法

ここでは minilogue Sound Librarian の各画面の機能を説明します。

minilogue Sound Librarian メイン画面

minilogue Sound Librarian を起動すると表示される画面です。



メイン・ディスプレイ

選択したプログラムのプログラム名を表示します。

Write PROG ボタン

Write PROG ボタンを押すと、minilogue Sound Librarian のプログラム・リストで選択しているプログラムを minilogue に書き込みます。

Write ALL ボタン

Write ALL ボタンを押すと、現在編集中的のライブラリー・データを、minilogue に書き込みます。

ReceivePROG ボタン

ReceivePROG ボタンを押すと、minilogue Sound Librarian のプログラム・リストで選択しているプログラムを minilogue から読み込みます。

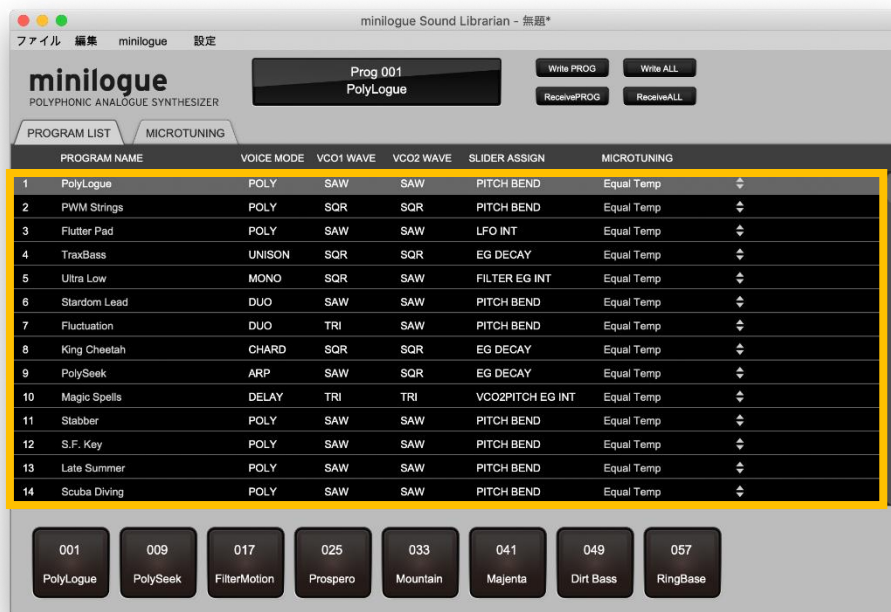
ReceiveALL ボタン

ReceiveALL ボタンを押すと、minilogue からライブラリー・データを読み込みます。

プログラム・リスト

PROGRAM LIST のタブをクリックして選択します。

プログラム・データの表示や並び替えなどの編集、プログラム名のエディットや MICROTUNING の選択ができます。



プログラムを選択する

プログラム・リストの項目をクリックしてプログラムを選択します。プログラムを選択すると、選択したプログラムが minilogue に転送され、音色の確認ができます。

Tip Mac では command キー、Windows では Ctrl キーを押しながらプログラム・リストの項目を選択すると複数の項目を一度に選択できます。

プログラムを並び替える

プログラム・リストの項目をドラッグ&ドロップすると、プログラムの並びを変更できます。

Tip 複数の項目を選択し、一度に並び替えることも可能です。

プログラムをコピーする

プログラム・リストの項目を、Mac では option キー、Windows では Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると、プログラムをコピーできます。

Tip 複数の項目を選択し、一度にコピーすることも可能です。

プログラム名を変更する

PROGRAM NAME の項目をダブルクリックすると、プログラム名を変更できます。

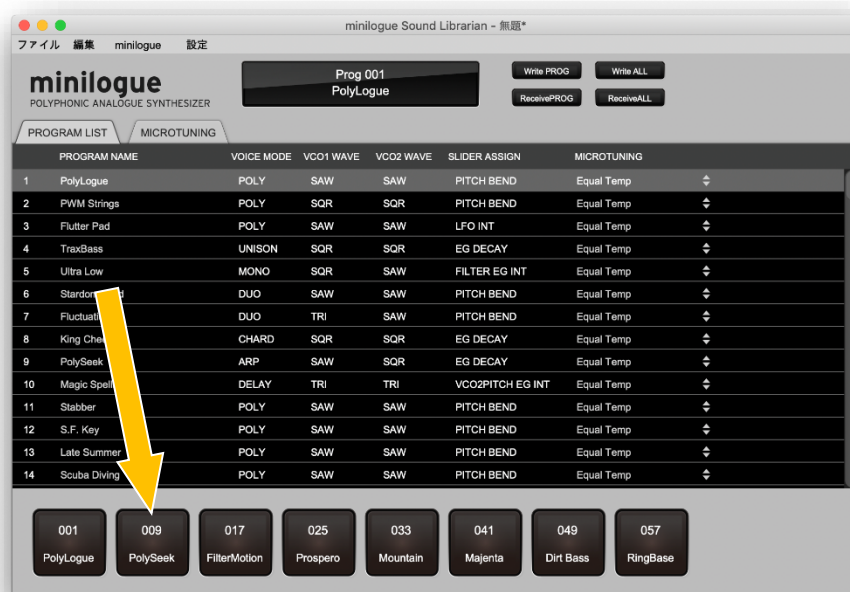
マイクロチューニングを変更する

MICROTUNING の項目をダブルクリックすると、使用するマイクロチューニングを選択できます。

フェイバリットの編集

フェイバリットを設定する

プログラム・リストの項目をドラッグし、フェイバリットの設定したいところにドロップすると、フェイバリットが設定できます。



フェイバリットを並び替える

フェイバリットをドラッグ＆ドロップすると、フェイバリットの並び替えができます。



マイクロチューニングの編集

マイクロチューニングを設定する

MICROTUNING のタブをクリックして選択します。

マイクロチューニングのボタンをクリックしてマイクロチューニングを選択します。

マイクロチューニングには、1 オクターブ分を設定できる<USER OCTAVE> と、128 鍵分を設定できる<USER SCALE>があります。



マイクロチューニングをエディットする

選択しているマイクロチューニングの、[NOTE]と[CENT]のエディットができます。

<USER SCALE>

選択しているマイクロチューニングが、<USER SCALE>のときには、下の鍵盤で選択している 1 オクターブのエディットができます。

エディットしたいオクターブを、下の鍵盤をクリックして選択します。

[NOTE]の範囲は C-1 から G9 で、マウスでドラッグするか、ダブルクリックしてキーボードから直接入力します。

[CENT]の範囲は -50 から 49 で、マウスでドラッグするか、ダブルクリックしてキーボードから直接入力します。

<USER OCTAVE>

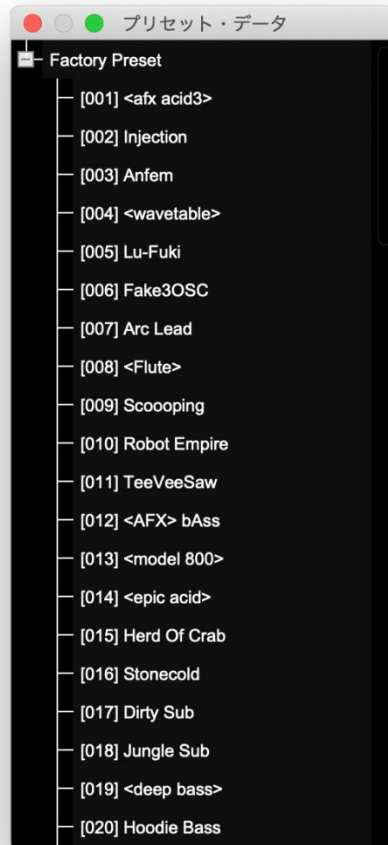
選択しているマイクロチューニングが、<USER OCTAVE>のときには、

[NOTE]の範囲は - C から +B で、マウスでドラッグするか、ダブルクリックしてキーボードから直接入力します。

[CENT]の範囲は -50 から 49 で、マウスでドラッグするか、ダブルクリックしてキーボードから直接入力します。

プリセット・データ

プリセット・データはファクトリー・プリセットなど、コルグから提供されるプログラム・データ集です。
「設定」メニューから「プリセット・ウィンドウを表示」を選択すると、プリセット・データ・ウィンドウが表示されます。



プリセット・データを試奏する

プリセット・データ・ウィンドウのプログラムを選択すると、minilogue に反映され、音色を試すことができます。

プリセット・データのプログラムをプログラム・リストに追加する

プリセット・データ・ウィンドウからプログラム・リストにプログラムをドラッグ & ドロップすると追加することができます。

プリセット・データを追加する

プリセット・データ・ファイル(****.mnlpreset) (**** はファイル名)を minilogue Sound Librarian アイコンにドラッグ & ドロップして起動すると、プリセット・データを追加することができます。

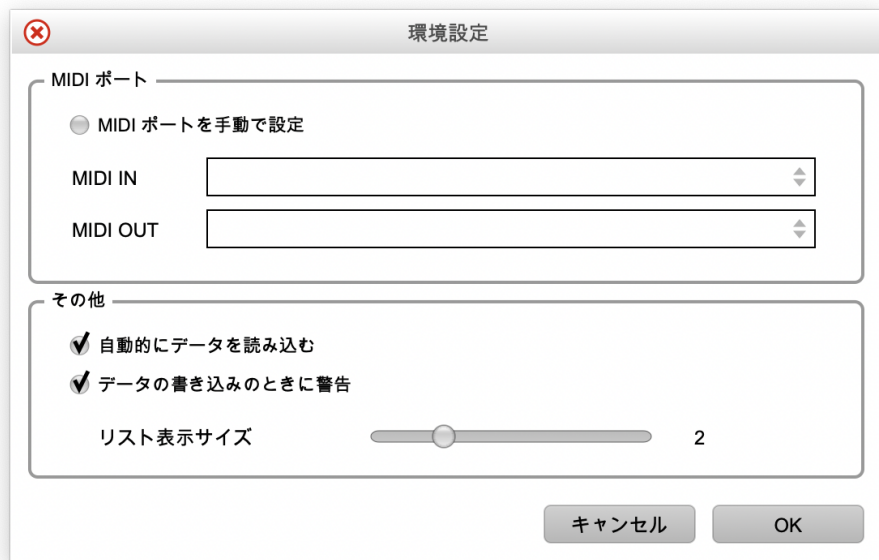
Tip 「ファイル」メニューの「プリセット・ファイルをインポート」でも、プリセット・データを追加することができます。

追加した全てのプリセット・データを削除する

「設定」メニューの「プリセットを初期化して終了」を実行すると、追加した全てのプリセット・データを削除することができます。

環境設定

「設定」メニューから「環境設定」を選択すると、環境設定ダイアログが表示されます。



MIDI ポート

MIDI ポートを手動で設定

通常は接続されている minilogue を自動的に検出しますが、手動で MIDI ポートを設定するときにオンにします。コンピューターに複数台の minilogue を接続したときなどに使用します。この設定をオンにしたときは、MIDI IN/OUT にそれぞれ minilogue が接続されているポートを指定します。

MIDI IN

minilogue が接続されている MIDI IN ポートを指定します。

Tip 通常、minilogue の「KBD/KNOB」ポートを指定します。

MIDI OUT

minilogue が接続されている MIDI OUT ポートを指定します。

Tip 通常、minilogue の「SOUND」ポートを指定します。

その他

自動的にデータを読み込む

オンに設定すると、minilogue Sound Librarian 起動時に minilogue から自動的にデータを読み込みます。オフに設定すると、自動的に読み込まなくなります。

データの書き込みのときに警告

オンに設定すると、minilogue ヘデータを書き込む前に警告ダイアログを表示します。オフに設定すると、警告ダイアログを表示せずに書き込みます。

リスト表示サイズ

プログラム・リスト、プリセット・ウィンドウの文字表示サイズを設定します。

ファイルの種類

minilogue Sound Librarian は、以下のファイルを扱います。

種類	内容	拡張子
ライブラリー・データ	200 個のプログラム・データとマイクロチューニング・データ	mnlglib
プログラム・データ	1 個のプログラム・データ	mnlprog
ユーザー・スケール・データ	1 個のユーザー・スケール・データ	mnlgtuns
ユーザー・オクターブ・データ	1 個のユーザー・オクターブ・データ	mnlgtuno
プリセット・データ	コルグから提供されるプログラム・データ集	mnlpreset

メニュー

ファイル

新規作成

新しいライブラリー・データを作成します。

開く

ライブラリー・データ・ファイルを読み込みます。

保存

現在編集中のライブラリー・データを、ライブラリー・データ・ファイルに上書き保存します。

名前をつけて保存

現在編集中のライブラリー・データに名前をつけてライブラリー・データ・ファイルとして保存します。

プログラム・データを読み込み

プログラム・リストで選択しているプログラムに、プログラム・データ・ファイルを読み込みます。

プログラム・データを保存

プログラム・リストで選択しているプログラムを、名前をつけてプログラム・データ・ファイルとして保存します。

スケール・データを読み込み

マイクロチューニングの編集で選択しているマイクロチューニングに、スケール・ファイルを読み込みます。

スケール・データを保存

マイクロチューニングの編集で選択しているマイクロチューニングを、名前をつけてスケール・ファイルとして保存します。

スカラーをインポート

マイクロチューニングの編集で選択しているマイクロチューニングに、SCALA ファイルを読み込みます。

Map File の[インポート]ボタンを押して、****.kbn ファイルを読み込みます。

必要に応じて ****.kbn ファイルと、****.scl ファイルを組み合わせ読み込むことができます。

****.kbn ファイルは、****.scl ファイルを読み込む前に読み込んでください。

一度読み込んだ ****.kbn ファイルは、[クリア] ボタンでクリアするまで有効になります。

****.kbn ファイルが不要なときは、[クリア] ボタンを押してクリアします。

Scala File の[インポート]ボタンを押して、****.scl ファイルを読み込みます。

ファイルが指定されたときに読み込まれます。


読み込みが終了したら、[OK]ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。



スカラーをエクスポート

マイクロチューニングの編集で選択しているマイクロチューニングを、名前をつけて SCALA ファイルとして保存します。

****.scl ファイルと、****.kbn ファイルが作成されます。

 既に、同名の ****.kbn ファイルがあったときは、上書きされます。(警告は出ません)

プリセット・ファイルをインポート

プリセット・ファイルを読み込み、プリセット・データに追加します。

終了(Windows のみ)

minilogue Sound Librarian を終了します。

編集

元に戻す

ひとつ前の操作を取り消します。

やり直す

「Undo」を実行する前の状態に戻します。

カット

選択したプログラムを切り取ります。

コピー


選択したプログラムをコピーします。

ペースト

カット、またはコピーしたプログラムを、選択したプログラムへ貼り付けます。

クリア

選択したプログラムをクリアします。

 編集の操作は、マイクロチューニングの編集では使用できません。

minilogue

ライブラリー・データを読み込み

minilogue から全てのプログラム、ユーザー・スケール、ユーザー・オクターブを読み込みます。

ライブラリー・データを書き込み

現在編集中の全てのプログラム、ユーザー・スケール、ユーザー・オクターブを、minilogue に書き込みます。

プログラム・データを読み込み

minilogue Sound Librarian のプログラム・リストで選択しているプログラムに minilogue のプログラムを読み込みます。

プログラム・データを書き込み

minilogue Sound Librarian のプログラム・リストで選択しているプログラムを minilogue に書き込みます。

設定

プリセット・ウィンドウを表示

プリセット・データ・ウィンドウを表示します。

環境設定

環境設定ダイアログを表示します。

バージョン情報

minilogue Sound Librarian のバージョン情報を表示します。

プリセットを初期化して終了

追加した全てのプリセット・データをアンインストールして、minilogue Sound Librarian を終了します。

トラブル・シューティング

起動できない

- お使いのコンピューターが、動作環境を満たしているか確認してください。
- 他のアプリケーションが起動していないか確認してください。
他のアプリケーションが起動していると、起動に失敗したり転送に失敗したりすることがあります。
失敗した場合は他のアプリケーションをすべて終了させて、再度動作を確認してください。

転送に失敗する

- 接続したコンピューターに minilogue が認識されていることを確認してください。
Windows 7/8.1/10: コントロール パネルの「ハードウェアとサウンド」→「デバイス マネージャー」の
“サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラー”で確認してください。
Mac: 「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「Audio MIDI 設定」を起動し、「ウィンドウ」メニューから
“MIDI ウィンドウを表示”を選択して開く“MIDI スタジオ”ウィンドウで確認してください。
- 最新の KORG USB-MIDI Driver がインストールされていることを確認してください。
最新の KORG USB-MIDI Driver は、コルグ・ウェブサイトからダウンロードできます。
(<http://www.korg.com/>)
- 手動で MIDI ポートを設定しているときは、MIDI ポートの設定が間違っていないか確認してください。
- minilogue の接続に USB ハブを使用している場合は、USB ハブを使用せず minilogue をコンピューターに直接接続して、動作を確認してください。